



神様に感謝

ブランチフィールド神父

9月9日に退院してからまだ1ヵ月になっていないが、毎日の生活は早くも普通どおりに戻って、心から神様に感謝しております。また、たくさんの方々の祈りも、ありがたく思います。これから定期的にリハビリを受けながら、回復が完全になることを希望しております。

敬老会がすんでから、自然にクリスマスに向かって考えます。それに、まだ早いと思いますが、クリスマスの直後に終了する大聖年のことを考えます。もう9か月が経っていますが、片瀬教会としての巡礼の計画はない。教会に頼るよりも、共同体の中にコミュニティはあるし、さまざまな講座グループなどもあります。みなさんが自由に小グループを組んで、任命された教会に行っているのではないかと。コロンバン会のレオ神父様の教会（築地教会）も任命されています。レオ神父様によりますと、毎日小さいグループが、よく訪問しているそうです。

この次の聖年は25年先、2050年となります。巡礼の目的は回心だと思えば、延期は考えるものではないと思います！片瀬教会からのいくつかの小さい巡礼に希望をかけます。

暦の上で、11月23日は王であるキリストの祝い、12月8日は無原罪の聖母の祝いです。祈る共同体として、これらの祝日にも、何か特別なことができるのではないかと考えています。

2025 年 10 月度 教会委員会報告

開催日時：2025 年 9 月 21 日(日) 12 時 00 分～13 時 30 分

出席者：ブランチ神父、委員長、教会学校、副委員長、典礼、監査、総務、宣教司牧、福祉、小泉広報、中高大青会、一粒会、市内キリスト教連絡会、シャルトル聖パウル修道女会、聖母訪問会

※コミュニティ代表者：(A)、(B)、(C)

□ ブランチ神父のお話し

先日の敬老の日の集まりは大勢の皆様がいらして良かった。私は、今度は一人暮らしのお年寄りのクリスマスパーティの様なものを開いても良いかなと思った。

□ 全体の報告および連絡事項

1. 8 月 31 日(日) 14:00～ 第 5 地区「祈る力を育てる部門」 片瀬教会 信徒会館 2F の予定であったがブランチ神父様入院中であつたので鍛冶ヶ谷教会に場所を変更になった。
2. 2025 年 8 月 15 日(金)聖母被昇天の祭日のミサと「平和の祭」を行った。
16 時 30 分から 17 時 30 分 聖堂で被昇天のマリアのミサ その後全員外に出てマリア像の前で祈り 18 時から信徒会館及び前庭にて平和の祭り。
参加者合計：98 名 大人 80 名、中高大生 9 名 無料の子ども 9 名
カフェ A の皆様と平和の祭実行委員により準備、実行をした
反省会を 8 月 24 日におこない来年度の参考にするため意見交換をして実行委員会は解散した。(参考資料は議事録と一緒にファイルしておくので閲覧したい方はご覧ください。)
3. 9 月 14 日(日)祖父母と高齢者の為の世界祈願日に病者の塗油の秘蹟とミサ後敬老祝賀会を信徒会館で行った。カフェ B の皆様にお茶の用意をしていただき、その他典礼の方々、総務の皆様、ウクレレサークル、中高大青会、教会学校他、自主的に手を挙げて下さった皆様との協力の元、病者の塗油の秘蹟(ミサ中)また敬老祝賀会を実行出来た。

出した往復はがき：148 枚

返信 ①届かず、もどって来たもの：4 通

②返信：95 通

病者の塗油の秘蹟のみ希望者 3 名

病者の塗油の秘蹟希望者 21 名(祝賀会出席者の中で)

敬老会出席者 54 名(うちご家族様 7 名)

※50 通が返信無し。うち口頭で出欠を伝えてくださった方もいらしたし、とにかく直前まで増加していった。

良かった点・反省点及び改善点

良かった点

- ・ 歓談の時間が大切と思ったが、満席で動き回ってお話し出来る感じではなかったので、着席してみんなで歌う事が出来た事が良かったかと。それも自然発生的に案が出てきた事が良かった。
- ・ 子どもと敬老の皆様だけでなく各世代全体が、敬老会に関わる事が出来た事が良かった。
- ・ 家族の方の7名の参加者があった事は良かった。
- ・ 当日いらした78歳以上の皆様全員に紅白饅頭、祝賀会出席者全員(ご家族様含む)にお赤飯のおみやげが足りなくならなくて良かった。
- ・ 時間的には今回の時間がギリギリ(11時40分に始まり、12時40分終了)これ以上長くしない方が良い。ゴミサから合計すると2時間40分となるので。

反省及び改善点

- ・ 敬老会入り口の受付でシールを配っていたが、炎天下長い列ができていたので事前に出席者は把握しているので自由に座った後にシールを配ってもよいのではないか。
- ・ お赤飯はその場で食べないで、お持ち帰りということだったが、持ちかえるには重い、一人暮らしなので食べきれない、夫婦二人でもらったが一つでよい、という意見もあった。
- ・ 敬老会の間おなかすいたという人がいたが、赤飯の代わりにパック詰めのサンドイッチを配布すればその場で食べられるし、持ち帰りもできると思った。
- ・ 席がぎゅうぎゅう詰めで、自由に動けなかったので、話したい人と話ができなくて残念という声を聞いた。来年の課題として考えてほしい。真ん中に大テーブルその上に食べ物。周りに椅子形式？もし、テーブルを置くなら、繋げずに幅狭くスペースも取らないのでは。(御高齢の方の中には、テーブルが必要な方もいらっしゃるかもしれないので。)
- ・ 多数の演目より歓談タイム増が必須。演目の見直し。
- ・ 今年は対象者を昨年に合わせて78歳にしたが、来年は80歳にした方がよいという意見、また1歳ずつ上げていった方がよいのではないかとという意見も出たが、これに関しては来年早めに調査をして決定する事とする。等の意見が出た。上記の事を踏まえて、人数の把握が今年で大体出来たので、来年は早期から今回の反省点を踏まえて準備が必要。

4. 防火設備点検に関して

毎年、消化器の点検を行っていて昨年は9月上旬におこなっていたが今年は9月下旬から10月上旬に行う事とする。(今年期限切れの物が1本ある) 担当：池尾氏

□各部からの報告(部会の有様、今考えていることについても報告してください)

総務部

以前から買い替えが必要であった司祭館のスリッパの古いものを処分、新しいものにした。

典礼部

年間予定表通り 11 月 16 日は七五三のミサとする。七五三予定者募集の張り紙は典礼部に願います。

宣教司牧部

「暁の星の聖母」(当教会にある絵画)を聖心女子大に以下の一定期間中展示をしたいので貸して欲しいという要望があった為に 10 月 14 日～4 月 21 日迄貸し出す予定になっている。

福祉部

夏の合宿団体 9 団体はすべて無事終了。ご協力下さった皆様に感謝する。その中の団体、川崎マックさんが教会のお庭の整備をして下さった。

※今後のお庭整備について

回復プログラムと元植木職人さんもいらっしゃる事から、ボランティアで草刈り清掃作業をしてくださるという事で願います事とした。(他教会、中原教会、溝の口教会、貝塚教会で定期的に庭の草刈り作業を定期的に行っている。)

月 2 回など定期的に行ってもらえる様に福祉部が窓口になって今後決める。

教会学校

8 月 31 日より 2 学期開始。先週までは敬老祝賀会の準備をした。次はバザーの為に計画を盛り込むがクリスマスに向けて聖書のお話しも組み入れて、イベント的な事と聖書の内容理解をバランスよく行っていきたい。

中高大青会

① 10 月 26 日にローマ巡礼の報告会を信徒会館で行う。宣教司牧部協力の元写真と動画をテレビに映しながら説明をする。その日のカフェ係は C グループなので、その為にコーヒーとお菓子も準備も願います。おしらせに週間前から載せて多くの方々に見ていただきたい。時間は 30 分程度。その会のタイトルを中高大青会中心にこれから考えてもらう。

② 中高大青会のインスタを開設したいという要望があり、早速開設してもらう事となった。開設したら報告。

一粒会

第一日曜日の共同祈願での、一粒会の祈りを神父様が確認済、10 月から、文面を変えた新しい祈りにて、行うこととする。同時に、横浜教区第五地区委員会の、『祈りのリレー』の当番が、片瀬教会は 11 月に、あたっているの、この新しい祈りで、祈りのリレーをして行うこととする。(11 月は毎週)

市内キリスト教連絡会

12月13日の市民クリスマスの準備をしている。

営繕及び営繕プロジェクト

聖堂修復(外壁、窓枠)中庭側だけではなく、裏側も全て行いたい。概算費用は330万円+α ★上記で決定、実行に移す事は今委員会で挙手にて決定。

この件に関しては営繕プロジェクトのメンバーとブランチ神父様、宮國が参加して詳細、日程その他を9月23日に確認。

その他

前島さんより

- ① 11月18日(火)湘南白百合学園 高校3年生の修養会
会場として聖堂、一部生徒の昼食場所として信徒会館の一階を使用する。
時間：8時～13時 修養会の最後にミサも行いますので、聖具等も使用。
修養会の指導司祭は、本校チャプレンの谷脇慎太郎神父様。
- ② 11月12日(水)8時30分～10時白百合幼稚園より七五三の祝いを行うので聖堂を借りたいという要望あり。使用許可を出してある。
- ③ ガーデニングの皆様
今年の夏は特に暑かったが、毎日当番制でガーデニングの皆様が当番で水やりをして下さったので、緑や花が豊かな庭が保てた。ガーデニングの皆様、お疲れ様でした。

□ 検討・討議事項

1. 10月はロザリオの月なので、ミサ15分前からロザリオの祈りを唱える事とする。(8時と10時のミサ両方)8月の様に池尾氏と典礼で係を決めていただく。
2. 教会バザーについて
 - 1) 昨年同様、フリーマーケット形式、コミュニティ主体のやり方とする。
 - 2) 日時は、11月9日(日)11～14時とする。(ミサは通常通り)
 - 3) 実行委員は正副委員長を中心にコミュニティ代表(各地域別)、委員会メンバーという事は教会全体で取り組むという事。上記までは、先月の委員会で決まっている内容。第1回実行委員会の日時を決めて計画をたてる。急であるが、候補日9月28日ミサ後と決定。短時間で①顔合わせと②バザーの目的を決めるくらい。③提案：今年は、なるべく、同じものが重ならないように部門別にしたらどうかという事を話し合う。

※食べ物、お菓子、ケーキ類、リサイクルショップ、ブランド品ショップ、家庭用品、本、子供服、その他などをコミュニティが1つ担当して、そこに、当日か前日当てはまるものを値札をつけて持っていく形式だと、統一性があって良いのではないか。
3. 今年の「ペットの祝福」に関して
例年9月に行っているが、昨今の気温上昇を考えて気候の良い春頃が良いの

で春に向けて計画する。

4. 聖テレジア病院から、クリスマスのキャロリングの要望

先月の委員会で聖テレジア病院から、クリスマスのキャロリングの要望があり。コロナ前は、「マリアコーラス」が実施していたが、コロナの影響で消滅してしまったので教会の有志でキャロリングをやることにした。池尾氏がテレジア病院に候補日を打診した結果、平日午後、子ども達、学生が冬休みになってからの方が参加しやすいので12月22日(月)はどうかという事になっている。来月初旬に病院全体会議でこの日程でよければ決定となる。その後、動き始める事とする。

5. 聖年の巡礼

巡礼教会である山手教会にバスをチャーターしていきましょうという話を以前したと思うが神父様の手術並びに術後どうなるかが解らなかったのでペンディングになっていたが、仮予約をしておいた日にちに結婚式が入ったという連絡があったので、キャンセルせざるを得なくなったし、これから大型バスは厳しいので、今回は教会全体で山手教会に行くという事は断念する事としたが、出来るのであれば個人的や小グループで全免償を得る為に巡礼教会を積極的に訪問して欲しい希望がある。

横浜教区：山手教会のみ

東京教区：東京カテドラル聖マリアンナ大聖堂(関口教会)、秋津・清瀬・小平教会、神田教会、北町教会、麴町教会、関町教会、高輪教会、調布教会、築地教会、八王子教会、五井教会(千葉)、西千葉教会(千葉)、松戸教会(千葉)

6. ガザのこども達の為の募金箱の設置

雪ノ下教会で行われた「パレスチナとわたしたち」

講師 金子由佳さん(立教大学兼任講師、国際協力NGO職員、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザにこれまで100回近くガザを訪問)

講演を聞き、地上戦が始まり命の危険、また、飢餓状態が進んでいる。特に立場の弱い子ども達の命の危機がせまっている。(生後5歳未満の子ども約71万人が今後11ヵ月以内に急性栄養不良になると予想されている。子ども達は動物の餌、葉っぱ、砂交じりの小麦粉を食べて飢えをしのいでいる状態。それ以上に多くの子ども達が餓死をしている。)

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに少しでも多くの金額を募金する事としたいので、聖堂に募金箱を設置する。

次回 10月12日

「青年の祝祭」 ローマ巡礼に参加して

M. A.

2025 年の聖年における行事、「青年の祝祭」の日本公式巡礼団に、片瀬教会を代表して参加をさせて頂きました。7/27～8/5 までの 10 日間、バチカンとローマの各地で開かれた青年のイベントを体験してきました。18 歳から 30 歳の青年信者を対象にしたこのイベントには、世界の若者たちが全世界からおよそ 100 万人が集まりました。日本の公式巡礼団に参加した若者は、40 名で全国の各教区から集まり、巡礼団の団長はアンドレア・レンボ司教様(東京教区補佐司教)、他に成井司教様(新潟教区司教)と全国から司祭 7 名、宣教者が 1 名同行してくださいました。

レンボ司教様はミラノ会の方で、以前片瀬教会にもよくいらして下さり、私も何度かお会いしたことがありましたので、マリオ神父様とパスカーレ神父様のお話を懐かしくさせて頂きました。司祭の中に、以前、片瀬教会に神学生としていらしていた松村繁彦神父様もおられました。

ローマに到着すると、街は世界各国からの若者で溢れており世界中の旗が掲げられ、すれ違うたびに皆笑顔で挨拶を交わしながら、それぞれの国の歌を歌いながら歩いているグループもあり、とてもフレンドリーで特別な雰囲気でした。ローマの街に溢れたこの若者たちが皆同じ信仰のもとに集まっていると思うと心からわくわくして感動しました。世界の人達から日本はとても人気があり、日本の国旗を見つけるととびきりの笑顔で「ジャポーン」「こんにちは」「日本大好きー」と沢山声を掛けられ、とても嬉しかったです。

その後は、バチカンサンピエトロ広場で歓迎ミサがあり、あふれるほどの世界中の若者たちと同じ信仰のもとに繋がり、祈りを共に捧げミサに与れたことは言葉では言い表せないものがありました。ミサの終了と同時に、レオ 14 世教皇様がサプライズでパパモービルに現れ、参列している若者の間を丁寧にゆっくりと手を振りながら周って下さり、そのお顔は優しい笑顔で愛に溢れており、若者は皆、大絶叫で「パパ、レオーネ」の割れんばかりの大歓声が起こり、広場はパパ様への愛で溢れており、それを上回る程のパパ様の若者たちへの慈愛に満ち溢れた温かさが伝わってきて、皆、涙を流しておりました。

次の日からは、ローマの 4 大バシリカのサンパウロ大聖堂、サンタ・マリア・マッジョーレ大聖堂、ラテラノ聖ヨハネ大聖堂、サン・ピエトロ大聖堂の 4 つの聖なる扉をくぐり、夜にはローマの街を散策するナイトツアー、日本の巡礼団だ

けの時を持つこともでき、ローマ市内の神言会本部で、「悔い改め」をテーマとした、司教様の講話、ゆるしの秘跡、信仰の相談等があり、共にミサに与り、自分の信仰をみつめ直し、お互いに信仰の絆を深める場を持つことが出来ました。

終盤には、いよいよレオ 14 世教皇様との祈りの時を過ごすため、ローマ郊外のトール・ヴェルガタ野外会場へ、4.5km の巡礼の道を徒歩で向かいました。到着後、広大な会場の一角に日本の場所を取り、コンサート等に参加をして夕方から教皇様の「前晩の祈り」がとり行われ、前列の椅子席に座る事ができ、教皇様の祈りに間近で参加をすることが出来ました。各国の青年代表者の質疑に教皇様が答えられ、若者の声の一つ一つ丁寧に答えられて対話をし、その後、聖体礼拝が行われ教皇様の深い祈りを間近で感じられ、夜になっていく中、教皇様の祈りの深さに 100 万人の青年が長い間、物音ひとつしない静けさに包まれ一つとなった、祈りの体験は深く心に刻まれ、教皇様の祈る背中が今も忘れられません。その夜は、初めての野宿体験でしたが、聖霊に満たされていたからか、びっくりするくらいぐっすりと眠れました。

夜中に一雨あったことも気付かなかった程の 100 万人の中の野宿体験でした。

目が覚めると何やら騒がしく、早朝にパパ様がパパモービルでまた青年たちが野宿している間を周ってくれました。慌てて飛び起きて手を振ることが出来ました。幸せでいっぱいでした。その後、その広場で教皇様のミサに与り、ミサが終わるとパパ様はヘリコプターに乗ってさって行かれました。去り方もかっこよくて、皆、「パパ、レオーネ」を絶叫し、まるでヒーローの様でしたが、教皇様のミサのお説教を神父様がすぐに訳して下さり、若者たちへ「真の幸福とは？」「人生で本当に正しいこととは？」「虚しさという沼から自分を救い出してくれるものは？」と問われ、教皇様は、「現実や世の中のすべてのことに意味を見出すために、眼差しを上げ、愛のうちに神と一致するよう努め、キリストのような、優しさ、善良さ、謙遜、柔和、寛容、ゆるし、平和の感情を自分たちの心に育む必要を説かれました。」またこうも述べられました、「わたしたちの希望、それはイエスです。」「常にイエスと一致し、イエスとの友情に留まりながら、どこにいても、大いなるもの、聖なるものを求めるならば、皆さんの中に、まわりに、福音の光が日々広がるのを見ることができるでしょう」と、私たちを励ましてくださりました。

巡礼の旅で頂いた、沢山のお恵みと、教皇様の祈りとお言葉を胸に歩いていきたいと思います。巡礼の旅に行かせてくださりまして本当にありがとうございました。お世話になりましたすべての方々に感謝申し上げます。

＊10月26日(日)10時のミサ後、信徒会館1階で「バチカン・ローマの巡礼の報告会」を開かせて頂きます。画像や動画等織り交ぜながらご報告させて頂きます。どうぞいらしてください。



第5地区” 函嶺白百合学園でのサマーキャンプ

7月31日～8月2日

私は聖母訪問会のシスターマリアフランシスカ(東ティモール人)です。
今年6月の半ばから片瀬教会で、教会学校の手伝をしています。さっそく教会学校のリーダーとして第5地区サマーキャンプに行くことになりました。このキャンプを通して普段会う機会がない第5地区の子供リーダーや子供たちと出会い、交わることが出来たことは私にとって何よりも大きな恵みでした。この頂いたチャンスに感謝しています。キャンプは天気にも恵まれて、全て順調に行われました。神様から私たちへのプレゼントだったと思います。

キャンプでの生活

場所：白百合学園(強羅)

自然に恵まれて、境内地も広くて、子供たちは安心・安全で楽しく交わりの日々を過ごせました。

共に “学ぶ”

*地球博物館

私も初めて行きましたので子供の面倒を見ながら、子供たちと一緒にあって、色々な大きな石や見たこともない動物を楽しく見学しました。活き活きと走り回って、見学している子供たちの姿を見て感動し、この年代の子供たちは吸収力がすごいなあ～と感心しました。

*枇杷神父様よりのお話し

聖年についてのお話は、とても分かりやすかったです。
(希望の巡礼者の意味「特に主キリストと繋がる大切な三つの道」である**神さまを信じる信仰、お互いに与え合う愛、神様が与えられた希望**の三つの道の流れについてお話してくださいました。)

共に “祈る”

お祈りは、初めての子供もいましたが、リーダーの指導でしっかり歌い、お祈りもできました。

共に “遊ぶ”

私を含めて、初めて出会う子が沢山いましたが、もう長年知っているような雰囲気、みんなが楽しく仲良くゲームなどに参加した姿が今も私の心の中に残っています。

食べ物につて

子供たちは食事に関して、好き嫌いがあるのではないかと心配していましたが、無駄なく、殆ど残さずに食べました。子供たちはみんな素晴らしいと嬉しくなりました。

ゴミ

私は環境問題に普段から関心があり、ゴミが沢山でないかと心配していましたが、ペットボトルの代わりに水筒を持ってくる。自分のゴミは持ち帰るなど環境を意識してこのキャンプが行われていることもうれしかったです。

リーダー達の交わり：同じ目的を持って子供達の世話をします。リーダー達はオープンでした。子供たちのためによく計画されていて、私はとても学ばせていただきました。意見として：すべての流れは私にとってとても良かったです。

す。ただちょっと気になることが2点ありました。

霊的の面

子供達はみんな素直で私達が言うことをちゃんと聞いてくれました。共に遊ぶ、学ぶことはとても良かったです。15分ぐらいだけでも静かに目を閉じて神様と過ごす時間、たとえば、ロザリオ一連でも共にゆっくり唱えるプログラムがあってもいいと思いました。

(東ティモールでは、教会学校の子供は多い時で300人位です。ですから、まとめるのが大変でした。その中で、**祈り・学ぶ・遊ぶ**の3つは教会学校の基本として大切にしていました。)

生活面の事

子供達は子供らしく、のびのびとして頼もしかったです。ただ、朝起きる時、荷物の片付け、使った部屋の整えなども、身につけることが大切と思いました。

敬老のお祝い

9月14日、10時のミサの中で、78歳以上の敬老の方々を対象に「病者の塗油の秘跡」が執り行われました。9日に退院したばかりの神父様が軽やかな足取りで、一人一人に接されました。

「教会に久しぶりにお顔を見せた方々も含め、この共同体の家族として大切に思っています」という神父様の慈しみの言葉はミサに参列した65名の方々の心に響くものでした。

この後、信徒会館にてお祝いが行われました。コロナ禍以降久々の開催とあって参加者(付き添いのご家族を含めて50名以上)は、用意されたお茶菓子を召し上がりながら、お話に花が咲いて楽しんでおられました。また、「一人の小さな手」を教会学校の子どもたちが手話で披露し、平和のまつりで好評を得た金曜講座のメンバーが中心となり「希望の巡礼者」など3曲を参加の皆さんと歌いました。沢山の笑顔に包まれ、華やかな尊いお祝いの席となりました。

敬老祝会に参加して

コロナで中断していた敬老祝会が久々に開催され、シニア世代のまっ只中にいる私も喜んで参加させて頂きました。信徒会館は超満員でビックリ、懐かしい方々との再会でまるで同窓会の様相、同時に片瀬教会の歴史を感じました。

先人の方々が 80 年の歴史を連綿と繋いで今に至っているのだとしばし感慨に浸りました。「祝」カトリック片瀬教会と書かれた赤いのし紙のかかったお赤飯と紅白饅頭を手にした時も感激。お祝いの席では定番の品ですが、最近は少なくなっている慣習を頑なに守り継続している教会は、日頃からシニア世代に敬意を表している心遣いが伝わってきました。

「シニアの方々から元気もらってます。」との宮國委員長からの挨拶に、人生のゴールに近づいている日々を、神様、イエス様のみ心を思いつつ自分らしく元気に過ごそうと気持ちを新たにしました。

教会学校の子供さんの手話・お歌や金曜レディースの方々の歌も大声で一緒に歌い楽しませてもらいました。

企画準備を下さった皆様、心からありがとうございます。

H. K.



2025 年 10 月

☆教皇の意向：さまざまな宗教的伝統間の協力

さまざまな宗教的伝統を信じる人々が、平和、正義、人類の友愛を擁護し促進するために、互いに協力することができますように。

☆日本の教会の意向：被造物、すべてのいのち、自然環境

私たちが教皇フランシスコのメッセージを受けとめて、よりよい環境を保護し、すべてのいのちをまもるために歩むことができますように。

(祈りのしおり「きょうをささげる」より)

☆典礼と行事・活動予定

曜日	典礼	ミサ・典礼時間	行事・活動予定
10/1 水	聖テレジア(幼いイエスの)おとめ博士 記		聖書と典礼を読む会 10:00
2 木	守護の天使 記		まりあ食堂
3 金		9:30	ミサ後、金曜講座
4 土	聖フランシスコ(アシジ)修道者記		
5 日	年間第27主日	8:00 10:00	
6 月			
7 火	ロザリオの聖母 記		ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
8 水			聖書と典礼を読む会 10:00
9 木			
10 金		9:30	ミサ後、金曜講座
11 土			
12 日	年間第28主日	8:00 10:00	11月度教会委員会
13 月			
14 火			ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
15 水	聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士 記		聖書と典礼を読む会 10:00
16 木			
17 金	聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者 記	9:30	ミサ後、金曜講座
18 土	聖ルカ福音殉教者 祝		
19 日	年間第29主日	8:00 10:00	
20 月			
21 火			ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
22 水			聖書と典礼を読む会 10:00
23 木			
24 金		9:30	ミサ後、金曜講座
25 土			
26 日	年間第30主日	8:00 10:00	
27 月			
28 火	聖シモン聖ユダ使徒 祝		ローマの信徒への手紙を読む会 10:00
29 水			聖書と典礼を読む会 10:00
30 木			
31 金		9:30	ミサ後、金曜講座

◆お知らせ◆

○10月26日（日）10時のミサ後、信徒会館1階で「バチカン、ローマの巡礼の報告会」が開かれます。どうぞ皆様ご出席ください。

○10月の「金曜講座」の内容は「ヨハネによる福音書第2章13節～」です。皆様の参加をお待ちしています。

片瀬教会に秋 到来！！

～ガーデニングサークルの献身的な水やりのお陰で～



マリア像の周りの花々



黄色の彼岸花

2025 年9月号

〒251-0035

発行 カトリック片瀬教会

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL/FAX 0466-22-4646

<https://www.catholickatasechurch.com>